

今回で7回目を迎える本院の年(度)別の「医療の質」指標の公表です。先月号の編集後記にも記しましたように、今回公表する2013年(度)分では、クリニカル・インディケーター(CI)としての提示から、クオリティ・インディケーター(QI)としての指標選択に、その重点を移してあります。

また個々の指標は指標の立て方に、そのねらいを込めてきましたが、その意図は残すようにしています。例えば指標番号32では「影響が軽度の指標でも報告し次に繋げる」という指標の推移で医療安全の風土が培われてきたかを計ろうとしていますが、次の指標33が、この推移とは逆に減少していくことを期待しています。

職員が努力の後、達成感を持てるような指標の立て方、というのも大事なところではないでしょうか。

高知医療センター 医療の質評価・改善委員会 委員長 深田順一

高知医療センター臨床評価指標(QI/CI) 第7回集計(全44項目)

1 個別診療機能指標(26項目)

指標番号	指標名称	H21	H22	H23	H24	H25	算出単位	分子/分母および備考
1	脳神経外科退院患者の深部静脈血栓発生率(%)	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	年	分子:退院時病名に深部静脈血栓がある患者数 分母:脳神経外科年間退院患者総数 備考:入院時、すでに血栓があったと科長が判断できた症例は除いた。H25年度の分母は809例。(H21年度は761例、H22年度は858例、H23年度は825例、H24年度は822例)
2	脳神経外科における術後48時間以内の再手術(%)	0.44	1.47	1.27	1.09	1.89	年	分子:科内の術後48時間以内の再手術例数(再手術は脳外一脳外と定義する)付随する手術を含む 分母:脳神経外科における手術実施患者数 備考:指標の趣旨から、ここでは緊急再手術をカウントすることとした。H25年度の分母は212例。(H21年度の分母は277例、H22年度の分母は204例、H23年度の分母は236例、H24年度の分母は183例)
3	脳血管障害患者の平均在院日数(日)	19.6	19.0	21.6	19.5	16.8	年	分子:脳血管障害患者延べ在院日数 分母:脳血管障害患者総数
4	脳梗塞患者へのt-PA投与件数(件)	22	25	9	15	24	年	分子:カテゴリーに当てはまる投与総数
5	代謝・内分泌科医師の指示による外来個人栄養指導件数(件)	88	185	166	237	495	年	分子:年間延べ数 備考:人数でなく、件数とした。
6	当院で糖尿病治療を行った患者の中期治療効果(グリコHbA1cの低下幅)(%)	2.43	-	-	4.70	3.03	年	分子:期間内に代謝・内分泌科、総合診療科を初診した患者の初診後半年以上(1年未満)で最も変化(改善)したHbA1cの平均値 備考:糖尿病診療の中期の効果判定として測定。該当例はH25年度が21例。
7	気管支鏡検査実施後の気胸発生率(%)	0.0	0.2	0.8	0.4	0.0	年	分子:検査後気胸発生症例数 分母:気管支鏡施行症例数 備考:H25年度の分母は250例。(H21年度は345例、H22年度は403例、H23年度は366例、H24年度は262例)
8	造血幹細胞(同種、自家)移植実施数(件)	16	13	6	13	10	年	分子:造血幹細胞移植実施数(同種、自家) 備考:血液内科・輸血科、小児科の実績を合わせた実施数。
9	輸血時の不規則抗体スクリーニング検査の陽性率(%)	3.2	1.8	1.7	3.3	3.7	年	分子:その他陽性件数 分母:輸血時の不規則抗体スクリーニング依頼件数 備考:輸血時の不規則抗体スクリーニング依頼件数は、H25年度は1,401例で陽性は52件。(H24年度は1,352例で陽性は44件)
10	腎生検(腎臓内科・膠原病科)における併発症発生率(%)	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	年	分子:腎臓内科・膠原病科での併発症発生数 備考:腎臓内科・膠原病科での腎生検総数85例
11	大腸内視鏡治療・処置後の緊急手術率(%)	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	年	分子:穿孔による開腹手術症例数 分母:大腸内視鏡ポリペクトミー・粘膜切除術実施総症例数 備考:H25年度の分母は315例。(H21年度は234例、H22年度は307例、H23年度は270例、H24年度は250例)
12	総胆管結石処置後の緊急手術率(%)	2.2	0.0	0.6	0.0	0.0	年	分子:穿孔による開腹手術例数 分母:総胆管結石処置実施総症例数 備考:H25年度の分母は121例。(H21年度は136例、H22年度は171例、H23年度は176例、H24年度は149例)
13	脳卒中患者における、受診から画像検査(CT/MRI)までの時間(分)	26.9	24.3	23.0	33.3	32.5	年	分子:脳卒中患者におけるdoor to CT(MRI)時間(分) 分母:救命救急センターに搬送された脳卒中患者数 備考:時間は病院到着時刻から、CTあるいはMRI検査撮影時刻までを電子カルテ記録から算出した平均時間
14	急性心筋梗塞患者における受診からPCI治療までの時間(分)	82.3	56.0	46.3	57.2	52.8	年	分子:急性心筋梗塞患者におけるdoor to balloon時間(分) 分母:救命救急センターに搬送された急性心筋梗塞の患者数 備考:時間は病院到着時刻から、血管形成術施行時刻までを電子カルテ記録から算出した平均時間
15	救命救急センター受診から入院までの平均所要時間(分)	79.0	100.1	99.2	98.2	109.0	年	分子:救命救急センター受診から、そのまま入院となった患者の受付から入室までの所要時間(分) 分母:救命救急センター受診から、そのまま入院となった患者数
16	ヘリポート利用数(件)	242	220	333	400	463	年	分子:ヘリ搬送件数(搬入・搬出を含む)
17	同一入院中で2回目以降の手術が緊急手術(予定してなかった手術で科を問わない)であった患者の割合(%)	0.71	1.18	1.52	1.56	1.49	年	分子:同一入院中で2回目以降の手術が緊急手術(科を問わない予定外手術)であった患者数 分母:入院手術患者数 備考:同一入院中で2回以上手術を受けた患者リストから該当例を抜き出した。分母は被手術実人数で、H24年度の分母は4,415例。(H21年度は3,782例、H22年度は4,159例、H23年度は4,143例)
18	輸血製剤廃棄率(%)	0.59	1.13	2.08	1.31	1.06	年	分子:廃棄赤血球製剤単位数 分母:輸血管理室から出庫した赤血球製剤単位数 備考:輸血管理室よりのデータで自己血分を除く。H25年度の分母は10,142単位、分子は108単位。(H24年度の分母は10,159単位)
19	顎骨骨折観血的整復手術後の予定しない再手術率(%)	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	年	分子:術後感染、プレート破損などによる再手術件数 分母:手術実施患者数 備考:H24年度の分母は6例。(H21年度の分母は6例、H22年度の分母は10例、H23年度の分母は5例)

20	呼吸器外科手術後在院死亡率(%)	0.90	0.00	0.00	1.25	0.00	年	分子：手術後在院死亡数 分母：呼吸器外科全手術数 備考：H25年度の分母は158例。(H21の分母は93例、H22の分母は151例、H23の分母は130例、H23の分母は160例)
21	呼吸器外科における胸腔鏡手術率(%)	51.4	48.3	55.4	51.9	77.8	年	分子：呼吸器外科全手術のうち胸腔鏡手術数 分母：呼吸器外科全手術数 備考：H25年度の分母は158例。(H21の分母は93例、H22の分母は151例、H23の分母は130例、H23の分母は160例)
22	整形外科手術のうち、緊急手術例の割合(%)	22.3	21.9	16.3	15.0	15.0	年	分子：緊急で行われた整形外科手術数 分母：整形外科手術総数 備考：該当患者(分子)の選別は手術部責任者に確認した。H24年度の分母は1045例。(H21年度の分母は896例、H22年度の分母は948例、H23年度の分母は920例)
23	DPC院内感染症発生率①敗血症発生率(%)	8.17	8.23	8.71	6.60	6.33	年度	分子：敗血症となった症例数 分母：中心静脈注射実施症例数 備考：H25年度の分母は995例。(H24年度の分母は894例)
24	DPC院内感染症発生率②肺炎感染発生率(%)	10.76	14.76	8.70	7.38	9.65	年度	分子：肺炎となった症例数 分母：人工呼吸実施症例数 備考：H25年度の分母は518例。(H24年度の分母は461例)
25	DPC院内感染症発生率③尿路感染発生率(%)	0.47	0.27	0.59	0.38	0.82	年度	分子：尿路感染となった症例数 分母：膀胱留置カテーテル使用症例数 備考：H25年度の分母は4,166例。(H24年度の分母は3,915例)
26	DPC救急搬送症例死亡率(%)	5.2	5.3	6.5	5.0	5.7	年度	分子：死亡症例数 分母：救急搬送症例数 備考：H25年度の分母の2,019例(H24年度1,726例)(DPCの様式1に該当するケース)は、救急車で来院後、入院した患者総数2,369のうち病院間搬送に該当する例など、様式1から除外すべきケースを除いたものとなっている。従って、この集計方法では外来扱いのまま死亡した患者は含まれていない。

## 2. 総論的診療機能指標 (18項目)

指標番号	指標名称	H21	H22	H23	H24	H25	算出単位	分子 / 分母および備考
27	外来予約時間遵守率(%)	67.4	63.5	64.5	72.6	84.8	年度	分子：分母のうち、30分の予約時間枠内に診療の始まった患者数 分母：外来診療予約患者総数(予約時刻に遅れた患者を除く) 備考：30分毎に設定されている診療予約枠内で、予約のとおり医師の診療が始まった患者割合を算出した
28	ボランティア1人あたりの月平均活動回数(回)	4.0	4.0	3.0	3.0	2.8	年度	分子：ボランティア活動回数 分母：ボランティア活動人数 備考：マクドナルドハウスでの活動を除く。年度集計は3月～2月の12ヶ月間とした
29	ボランティア1人あたりの月平均活動時間(時間)	10.0	8.0	9.0	9.0	8.2	年度	分子：ボランティア活動回数 分母：ボランティア活動人数 備考：マクドナルドハウスでの活動を除く。年度集計は3月～2月の12ヶ月間とした
30	剖検率(%)	2.9	4.2	3.0	1.7	3.3	年度	分子：剖検数 分母：死亡患者数(入院+外来)
31	褥瘡発生率(%)	1.9	1.6	1.9	1.6	1.3	定点	分子：調査日に褥瘡(深さd1)を保有する患者数-入院時褥瘡保有患者数 分母：調査日の入院患者数 備考：日本褥創学会調査委員会の提唱する方法によりスキンケア・サポート室にて集計した
32	受付後、影響がレベル0～1と判定されたインシデントレポートの職員1人あたりの平均報告件数(件)	1.65	1.36	1.31	0.89	1.00	年度	分子：レベル0～1の報告数(報告数は同一事例についての重複報告を含む年度総数) 分母：インシデントレポートを報告すべき職員総数 備考：影響レベルが0～1の報告数が多いことは、医療安全に関する組織および職員のリスク感受性の指標とされる。H25年度のインシデントレポート総数は2,668件(H24年度は2,432件、H23年度は2,473件、H22年度は2,507件※、H21年度は3,073件)で、影響レベル0～1と判定されたH25年度のレポート数は1,210件(H24年度は1,145件、H23年度は1,800件、H22年度は1,875件※、H21年度は2,227件)、レポート報告が可能な総職員数は本年度(H25年度)は1,206名(H24年度は1,290名、H23年度は1,374名、H22年度は1,375名、H21年度は1,353名)
33	インシデントレポートで報告された事実のうちアクシデント(レベル3以上)の割合(%)	1.07	0.88	0.73	0.37	0.37	年度	分子：インシデントレポートで報告された事例のうちアクシデント(レベル3以上)の事例数 分母：レベル0～5のインシデントレポート報告事例総数(重複を含まない) 備考：この発生率が低いほど医療の質が高いと評価できる。H25年度の事例総数は2,187件(H24年度は2,153件)、このうちH25年度のレベル3以上は8件(H24年度は8件)
34	医師からのインシデントレポート報告率(%)	5.0	3.7	3.9	3.7	4.0	年度	分子：医師からのインシデントレポート報告数 分母：インシデントレポート総数 備考：インシデントレポートシステムから医療安全管理室にて集計した。H25年度の分子は108件(H24年度は89件)、分母は2,668件(H24年度は2,432件)
35	入院患者での転倒・転落率(%)	0.22	0.21	0.22	0.16	0.21	年度	分子：入院中の転倒・転落患者数(延べ件数) 分母：入院患者延べ数 備考：医療安全管理室にて(件数/患者・日)としてインシデントレポートシステムから集計した。H25年度の分子は390件(H24年度は294件)、分母はH25年度が186,693件(H24年度は188,710件)
36	転倒・転落が原因で手術が必要になった患者率(%)	0.33	0.02	0.01	0.00	0.02	年度	分子：入院中の転倒・転落が原因で手術を実施した件数(延べ件数) 分母：入院患者延べ数 備考：医療安全管理室にて(件数/患者・日)としてインシデントレポートシステムから集計した。H25年度の分子は3件(H24年度は0件)、分母はH25年度が186,693件(H24年度は188,710件)
37	退院サマリ作成率(%)	92.6	90.4	100.0	87.6	93.4	年度	分子：退院後2週間以内に診療情報管理士が受け取った件数 分母：総退院患者数 備考：中央診療情報管理室にて集計した
38	研修医1人当りの講習会受講済み指導医(人)	1.21	1.59	1.67	2.33	3.32	年度	分子：認定された指導医講習会を受講している指導医数 分母：在院研修医数 備考：研修管理委員会研修プログラム届出事項。H25年度の分子は63人(H24年度の分子は42人、H23年度の分子は30人、H22年度は27人)、H25年度の分母は19人(H24年度の分母は18人、H23年度の分母は18人、H22年度は17人)
39	患者意見のうち感謝文の割合(%)	24.7	27.3	27.0	32.0	41.0	年度	分子：投書された感謝文の件数 分母：投書された意見総数 備考：まごころ窓口にて集計した
40	苦情発生率(%)	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	年度	分子：投書された苦情件数 分母：実入院患者総数 備考：まごころ窓口にて集計した
41	地域医療連携室経由の紹介患者に関する受診1週間以内の返書率(%)	91.2	89.3	88.2	89.1	92.9	年度	分子：分母のうち受診から1週間以内に初回返書が書けている患者数 分母：地域医療連携室経由の紹介患者総数 備考：救命救急センターへの紹介患者集計は含まない
42	転院調整のための平均所要日数(日)	11.7	10.6	10.6	11.9	11.6	年度	分子：転院調整にかかった日数の合計 分母：転院依頼総数 備考：後方連携への院内各科からの依頼件数(総数)は、H25年度は1,544件(H24年度は1,316件)
43	職員のインフルエンザワクチン接種率(%)	88.7	93.3	93.7	93.5	91.5	年度	分子：季節性インフルエンザワクチン予防接種実施者 分母：高知県・高知市病院企業団職員数 備考：派遣・臨時・非常勤職員を含め、育児休暇・病気休暇中の職員を除く。
44	職員の健康診断受診率(%)	-	-	91.5	96.6	98.0	年度	分子：定期健診受診者数 分母：高知県・高知市病院企業団職員数 備考：臨時・非常勤職員を含め、人間ドック対象者、育児休暇・病気休暇中の職員を除く。